

科目名	総合日本語A						
科目名(英)							
単位数	12単位	時間数	180時間	担当者	柴藤		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常的な場面で日本語を使ってコミュニケーションができるようになることを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○				身近で日常的な話題についての会話で、話の流れを理解し、相手の気持ちに配慮しながら自分の考えを適切に伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	嶋田和子監修 『できる日本語初中級』 アルク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~6	第1課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	7~12	第2課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	13~18	第3課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	19~24	第4課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	25~30	第5課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	31~36	第6課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	37~42	第7課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	43~48	第8課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	49~54	第9課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	55~60	第10課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	61~66	第11課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	67~72	第12課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	73~78	第13課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	79~84	第14課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	85~90	第15課				授業の前に該当範囲を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
評価方法	(1)確認テスト(筆記)を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
確認テスト	◎	◎				50%	
履修上の注意	出席が60回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河原田		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常的な場面において、相手の心情に配慮しながら、適切な語彙や文型を使ってコミュニケーションができるようになることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		驚き、嬉しさなどの自分の気持ちとその理由を簡単な言葉で説明することができる。	
	○	○		○		身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○		○		準備をしていればフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	沢田幸子他『日本語おしゃべりのたね』スリーエーネットワーク 2006年 『新にほんご会話トレーニング』アスク出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	『日本語おしゃべりのたね』1. はじめまして			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	『日本語おしゃべりのたね』3. ちょっと買い物に			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	『日本語おしゃべりのたね』4. ジェスチャーで伝えよう			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	『日本語おしゃべりのたね』5. 旅行大好き			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	『日本語おしゃべりのたね』7. お元気ですか			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	『日本語おしゃべりのたね』9. 何を食べようかな			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	『日本語おしゃべりのたね』10. 日本の生活 高い?安い?			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	『日本語おしゃべりのたね』11. みんなのスポーツ			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	『日本語おしゃべりのたね』13. わたしの町は日本一 (博多弁講座)			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	『日本語おしゃべりのたね』14. ケータイ、持った?			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	『日本語おしゃべりのたね』15. 結婚いろいろ			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	『会話トレーニング』UNIT14 遊びの約束をする			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	『会話トレーニング』UNIT15 電話をかける			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	『会話トレーニング』UNIT27・28 相談する			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	『スピーチ』留学生会長に立候補する・推薦する			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)発表(授業への参加状況や発言など)。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	発表				◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語が理解できるようになることを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面の、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、具体的な内容を人物関係などとあわせてほしい理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	中村かおり他 『新完全マスターN3聴解』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	音声の特徴に慣れる			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	2	「発話表現」のスキルを学ぶ①			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	3	「発話表現」のスキルを学ぶ②			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	4	「即時応答」のスキルを学ぶ①			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	5	「即時応答」のスキルを学ぶ②			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	6	「課題理解」のスキルを学ぶ①			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	7	「課題理解」のスキルを学ぶ②			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	8	「ポイント理解」のスキルを学ぶ①			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	9	「ポイント理解」のスキルを学ぶ②			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	10	「概要理解」のスキルを学ぶ①			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	11	「概要理解」のスキルを学ぶ②			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	12	模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	13	『スピードマスターN3』第1回模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	14	『スピードマスターN3』第2回模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
15	まとめ			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと			
評価方法	(1)中間試験(筆記)を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎				50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語が理解できるようになることを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的话题について書かれた具体的な内容を表す文章を読んで理解することができる。	
	○	○				日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	渡邊亜子他『スピードマスター-N3読解』Jリサーチ出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ウォーミングアップ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	2	内容理解(短文)問題1~7			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	3	内容理解(短文)問題8~14			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	4	内容理解(短文)問題15~20			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	5	内容理解(中文)問題1~5			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	6	内容理解(中文)問題6~10			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	7	内容理解(中文)問題11~16			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	8	内容理解(長文)問題1~4			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	9	内容理解(長文)問題5~8			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	10	内容理解(長文)問題9~12			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	11	情報検索問題1~8			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	12	情報検索問題9~15			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	13	模擬試験			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	14	『新完全マスター-N3読解』模擬試験			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
15	まとめ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)			
評価方法	(1)中間試験(筆記)を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎				50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙A						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	柴藤		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常的な場面での会話や日常的な話題について書かれた文章を理解するのに必要な語彙を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面での会話や日常的な話題について書かれた文章を理解するのに必要な語彙が使えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	中島智子他『スピードマスター-N3語彙』Jリサーチ出版 2019年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	1～4				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	3・4	5～8				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	5・6	9～12				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	7・8	13～16				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	9・10	17～20				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	11・12	21～24				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	13・14	25～28				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	15・16	29～32				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	17・18	実戦練習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	19・20	33～36				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	21・22	37～40				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	23・24	41～45				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	25・26	実戦練習				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	27・28	第1回模擬試験				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	29・30	第2回模擬試験				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
評価方法	(1)中間試験(筆記)を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎				50%	
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文法A						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	柴藤		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日常的な場面での会話や日常的な話題について書かれた文章を理解するのに必要な文法を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面での会話や日常的な話題について書かれた文章を理解するのに必要な文法が使えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	アジア学生文化協会 『TRY!N3』 アスク出版 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	1 初めての富士登山				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	3・4	2 ぼくの犬、クロ				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	5・6	3 市民農園の募集				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	7・8	4 水泳大会				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	9・10	5 手作りハムのレシピ				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	11・12	6 里山について				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	13・14	7 不動産屋で				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	15・16	8 就職の面接				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	17・18	9 お花見(1)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	19・20	10 お花見(2)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	21・22	11 ゆきの選択(1)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	23・24	12 ゆきの選択(2)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	25・26	13 友だちのお見舞い(1)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	27・28	14 友だちのお見舞い(2)				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
29・30	まとめ				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
評価方法	(1)中間試験(筆記)を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎				50%	
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	プレゼンテーション						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	相手に伝えたいことを分かりやすく的確に伝えるスキルを学びます。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		自分や自分の好きなことを分かりやすく上手に伝えることができる。	
	○	○		○		相手に勧めたいことを上手に伝え、相手をその気にさせることができる。	
	○	○		○		自分の意見を的確に主張することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しません。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	私について				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	2	GWの予定				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	3	GWの報告				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	4	私のおススメ				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	5	私は大統領!				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	6	私の国のことわざ				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	7	私が紹介したい有名人				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	8	旅行プランをプレゼンしよう①				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	9	旅行プランをプレゼンしよう②				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	10	スピーチをしてみよう①				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	11	スピーチをしてみよう②				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	12	夏休みの計画				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	13	スピーチコンテスト				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
	14	夏休みの報告				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)	
15	X年後の世の中				授業前、授業後の課題に取り組むこと(30分)		
評価方法	(1)授業の中でプレゼンテーションを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	プレゼンテーション	◎	◎		◎		100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	日本文化A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	柴藤		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本の文化や習慣を理解し日本人と良い人間関係を築いて、日本での留学生生活を充実したものとすることを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日本の文化や習慣を理解し、実践できる。	
	○	○		○		地域の人やアルバイト先の人など身近な人々と良い人間関係を築くことができる。	
	○	○				日本の社会や文化について自分の国と比較することができる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木瑞枝 『クローズアップ日本事情15』 ジャパンタイムズ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	2	防災センター			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	3	進路説明会			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	4	健康診断			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	5	ユニット1 日本ってどんな国？			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	6	ユニット3 日本の旅を楽しもう			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	7	バスハイク①			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	8	バスハイク②			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	9	バスハイク③			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
	10	バスハイク④			授業終了時に示す課題を行うこと(1時間)		
評価方法	(1)課題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題	◎	◎		◎		100%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						